

## 議 事 録

会 議 名	令和6年第2回愛知警察署協議会（定例会）																														
日 時 ・ 場 所	令和6年5月27日（月） 午後1時30分から午後3時30分までの間 ----- 愛知警察署 講堂																														
出 席 者	<p>1 委員</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">石川 金文</td> <td style="width: 33%;">会長</td> <td style="width: 33%;">山田 洋子</td> <td style="width: 33%;">副会長</td> </tr> <tr> <td>福岡 康雄</td> <td>委員</td> <td>吉田 弘美</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>小池 洋二郎</td> <td>委員</td> <td>兼子 益生</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>内山 雄三</td> <td>委員</td> <td>船橋 銀太郎</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>山田 珠美</td> <td>委員</td> <td>武田 政宗</td> <td>委員</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上10名（定数12名）</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>2 警察署員</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">倉島 署長</td> <td style="width: 50%;">松原 副署長</td> </tr> <tr> <td>亀山 警務課長</td> <td>桐生 会計課長</td> </tr> <tr> <td>鈴木 生活安全課長</td> <td>長谷 刑事課長</td> </tr> <tr> <td>吉田 交通課長</td> <td>鈴木 警備課長</td> </tr> <tr> <td>近藤 豊明幹部交番所長</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上9名</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>3 有識者等 なし</p>	石川 金文	会長	山田 洋子	副会長	福岡 康雄	委員	吉田 弘美	委員	小池 洋二郎	委員	兼子 益生	委員	内山 雄三	委員	船橋 銀太郎	委員	山田 珠美	委員	武田 政宗	委員	倉島 署長	松原 副署長	亀山 警務課長	桐生 会計課長	鈴木 生活安全課長	長谷 刑事課長	吉田 交通課長	鈴木 警備課長	近藤 豊明幹部交番所長	
石川 金文	会長	山田 洋子	副会長																												
福岡 康雄	委員	吉田 弘美	委員																												
小池 洋二郎	委員	兼子 益生	委員																												
内山 雄三	委員	船橋 銀太郎	委員																												
山田 珠美	委員	武田 政宗	委員																												
倉島 署長	松原 副署長																														
亀山 警務課長	桐生 会計課長																														
鈴木 生活安全課長	長谷 刑事課長																														
吉田 交通課長	鈴木 警備課長																														
近藤 豊明幹部交番所長																															
諮 問 事 項 等	高齢者の交通事故抑止対策																														
答 申 等 の 概 要	<p>1 安全運転サポート車及び自転車用ヘルメットの普及促進に向けた活動や助成の継続を行政に働きかける</p> <p>2 反射材をより広く活用する働きかけの推進</p> <p>3 高齢者に特化したチラシの作成、配布</p>																														
そ の 他	次回開催予定 令和6年8月下旬																														

会議の経過及び発言の要旨	
1	委嘱状の交付
	署長から新規委員に対して公安委員会からの委嘱状を交付した。
2	会長及び副会長の選任
	委員の互選により、石川金文委員を会長に選出し、会長は山田洋子委員を副会長に指名した。
3	会長等、委員挨拶
4	署長挨拶、幹部紹介
5	各種報告
	(1) 管内の犯罪発生状況(生活安全課長説明)
	(2) 管内の交通事故発生状況(交通課長説明)
6	前回の答申に対する具体的施策の推進状況(生活安全課長説明)
	(1) 諮問事項
	昨年の犯罪情勢を踏まえた効果的抑止対策 ～特殊詐欺被害防止～
	(2) 答申事項
	ア 最後のとりでとしての金融機関の窓口対応職員、コンビニ店員に対する未然防止意識の向上
	イ 地域や民生委員などとの連携による未然防止意識の向上
	ウ 自治体と連携した特殊詐欺被害防止電話等の設置促進
	エ 新たな手口の周知と闇バイト防止対策
	(3) 推進施策
	被害防止職員への感謝状贈呈
	声掛けチェックシートの配布
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
防犯ボランティア団体等との連携	
防犯カメラ、被害防止電話機販売店等との連携	
自治体とともに高齢者対象の会合に参加した上での特殊詐欺被害防止機能付き電話機の設置促進	
大規模集客施設における新たな詐欺の手口や各種犯罪の周知を目的とした防犯広報	
管内の大学、高等学校、中学校における闇バイトの犯罪性、危険性などの教示	
7 諮問	
(1) 諮問事項	
高齢者の交通事故抑止対策	
(2) 諮問事項の設定理由（交通課長説明）	
愛知県内における交通事故死者数の内、5割近くを高齢者が占める。	
また、歩行者、自転車が当事者となる交通事故死者数では約7割を高齢者が占めている。	
愛知警察署管内では、令和5年中に交通死亡事故が3件発生し、その内2件が70歳代の高齢者であった。	
これを受け、当署では運転免許証の自主返納を促進するための管内企業や自治体への働きかけ、歩行シミュレーターを活用した交通安全教育の実施、商業施設における反射材の普及促進に向けた活動、自転車乗車用ヘルメットの着用促進等の取り組みを行っているが、より効果的な対策を講じ	
るべく警察署協議会委員の貴重な御意見を賜り今後の活動の参考とするた	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
め、今回の諮問事項とした。	
8 協議	
委員	・ 車両運転時に高齢者の側方通過時は、高齢者が車両の存在に気がついたことを確認してから通過するようにしている。
	・ 事故防止イベントに高齢者だけを集めるのではなく、その子供や孫たちも参加するようにしてみてもどうか。
委員	・ 横断歩道を横断中に事故に遭う方もいると聞いたので、横断歩道を渡るときは必ず左右の確認をしている。また、一時停止場所では必ず停止することを心がけている。
	・ 夜間徒歩で外出するときは反射材を身に付けているが、反射材もたすきみたいなものばかりではなく、もっと身につけたくなるようなデザインのものを用意してみてもどうか。
委員	・ 高齢者が運転する場合に、自分の運転能力がどれだけ落ちているかを認識させるような、判断テスト等を行う交通啓発イベントを推進してみるのはいかがでしょうか。また、運転免許の自主返納がしやすい地域の環境を整えるのも必要だと思う。
	・ 自動車関連企業も、交通事故死ゼロを目指して様々な取り組みを推進している。高齢者の運転手に対する、先進安全機能が付いた車両への乗換えを進めていくのも大切だと思う。
委員	・ 高齢者になると、話だけでは頭に残らないことも多いと思う。高齢者を対象とした交通事故防止のチラシを作成し配布するのも必要だと思う。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者向けの啓蒙活動を強化するべきである。県警が作成する交通事故防止啓発チラシは一般運転者向けだと思うので、高齢者向けのチラシを製作してみてもいいか。</li> <li>・ 特に危険と感ずるのが電動アシスト機能付自転車である。高齢者が乗車している場合も多く、それなりに速度も出るので、電動アシスト機能付自転車に関係する交通事故発生状況も示してみたらどうだろうか。</li> <li>・ チラシを保存版として作成し、冷蔵庫などの見えやすいところに掲載できるようにすればどうか。</li> </ul>		
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者講習等の機会で、安全運転サポート車とそうではない車両の安全性の差が分かる映像を視聴させることで、安全機能がある車両へ乗換えが進むのではないだろうか。また、安全機能がついた車両へ乗換えする際に各自治体から補助金が出るような働きかけを行うのも良いのではないかと思う。</li> <li>・ 反射材を普及させるのもいろいろな方法を試していると思うが、夜間の歩行時は反射材を着用することを努力義務化するという方法も検討してみてもどうか。</li> <li>・ 自転車のヘルメットの着用率が低いと思う。努力義務ではなく着用の義務化や罰則規定を設けることも検討する必要があると思う。</li> </ul>		
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最近の高齢者は、既存の老人クラブといった団体に所属せず、その代わりに、同じ趣味を持つ者同士でサークルを作り集まっている傾向があると思う。そのようなサークルに赴き、交通安全教育や啓</li> </ul>		
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

会議の経過及び発言の要旨	
発活動を行ってみてはどうか。	
・ 広報チラシも、クイズ形式や漫画やイラストを用いたインパクトのあるチラシを作成してみれば良いのではないか。	
委員	・ 小学生の通学時等における見守り活動を行っているが、合わせて高齢者の見守り活動も行うのはどうか。
・ 高齢者となっても運転する方には、安全運転サポート車に乗ってもらうよう働きかけを行うべきだと思う。	
・ 高齢者の自転車の運転も危険が伴うことが多い。ヘルメット着用を推進するとともに、自転車も安全性が高いものに乗り換えてもらえるような啓発活動を行えば良いのではないか。	
・ 警察には、パトロールをより一層強化し、消えかかっている道路標示を塗りなおすといった交通安全対策も推進してほしい。	
9 答申	
(1) 安全運転サポート車及び自転車用ヘルメットの普及促進に向けた活動や助成の継続を行政に働きかける	
(2) 反射材をより広く活用する働きかけの推進	
(3) 高齢者に特化したチラシの作成、配布	
10 その他	
次回の開催予定は、令和6年8月下旬とする。	
記録者	警務係長